

県立
産技短

欧州のデザイン学んで

アナ・ダプツツオさん(スイスの建築家)来校

矢中町南矢中の県立産業技術短期大学校(千葉剛彦校長)で5日、スイスの建築家・デザイナーのアナ・ダプツツオさん(セルビア出身)によるワークショップ(WS)が行われた。いわてアートプロジェクト2016(同実行委主催)の一環で実施。同校デザイン科の学生約40人が参加し、世界で活躍する芸術家の発想や技術を学んだ。



ワークショップに取り組む学生らを見守るアナさん

「私は私たちの体に関係している。眼は体を守り、家も同じで守る」という言葉がある。その言葉は、自由な

同じ考えが続いている」とデザインの本質にある考えも伝えた。WSでは、箱と折り紙を使い、建物をデザインするイメージで作る。学生らはアナさんからアドバイスを受けながら、自由に作り上げた。同科1年の古澤さん(18)は「学んでいるのは視点でさまざまなことを学び、デザインなど視野が広がった」と話した。アナさんは「この野を学んだから、道に進まなければいけない」と話した。一つの分野を

事故衝撃を疑似体験

県警交通企画課 高齢者200人で教室

高齢者が被害に遭う交通事故の多発を受け、高齢者を対象としたスケアード・ストリート教育技法による交通安全教室(県警察本部交通安全課主催)が8日、滝沢市滝沢砂込の岩手産業文化センター(屋外展示場)で行われた。盛岡、紫波、岩手、二戸の各場区に居住する高齢者約200人が参加。スタントマンによる事故の疑似体験を通して交通事故の危険性を再認識した。

現。今回の教室では、高齢者の急な横断による事故、自動車や畑の影から飛び出した自転車との事故、大剛内輪差による巻き込み事故などが目の前



解説 安村省三は、報知新聞の記事、